



南相馬市復興総合計画【 小高復興アクション・プラン 】 骨子

1. プランの策定趣旨

避難指示解除を受けた小高区の状況変化を踏まえ、平成27年3月に策定した復興総合計画に沿って、今後の小高区の目指すべき方向や施策展開をさらに具体化し、市民とともにまちづくりを進めるために策定する。

2. 南相馬市小高区を取り巻く現状と課題

【現状】

- ・帰還目標人数の約4割程度、若い世代の減少と高齢化の加速
- ・地域コミュニティの崩壊
- ・医療・福祉サービス等の不足
- ・空き地・空き家の増加
- ・避難指示の長期化による荒廃した農地、離農者の増加、農作物等の汚染への懸念・風評被害
- ・生活に必要な商業施設等の不足
- ・防災体制の弱体化

【課題】

- ・子供の遊び場、若者の居場所づくり
- ・魅力ある教育環境の充実
- ・高齢者の生きがいづくり
- ・地域コミュニティの再生・再構築
- ・医療・福祉サービス等の確保
- ・空き地・空き家の利活用
- ・農業復興を進める担い手（農業従事者）の確保
- ・商業施設の整備
- ・雇用の確保と新たな雇用の場の創出
- ・防災体制の見直し

3. 基本理念



4. 前期基本計画における小高区の施策展開方針

(1) 「最重点・重点プロジェクト」策定の視点

小高復興アクション・プランは、どの施策に優先的に力を入れるべきか、全ての施策と、重点的に取り組む事務事業や帰還状況を踏まえた事務事業等について検討を行い、各施策の力点を置くポイントがわかりやすい「最重点・重点プロジェクト」として、まとめていきます。

(2) 小高区の優先的な取組

南相馬市復興総合計画前期基本計画の最重点施策及び重点施策を明確に意識し、以下のとおり小高区の課題解決の着実な推進に資する施策の構築を図ります。

- 最重点プロジェクト** ①地域の絆の再生
 ②若者が定住し活躍できる取組の構築
- 重点プロジェクト** ①帰還住民の生きがいづくり
 ②交流の促進と連携による活性化
 ③安心して暮らしやすい生活環境の整備

(3) 「最重点・重点プロジェクト」取組期間

年度	H27	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36
復興総合計画の期間	復興総合計画									
	前期基本計画					後期基本計画				
	小高復興アクション・プラン									

5. 小高区の復興の目指すところ

(仮)：「みんなでうごき 心うごかす 本気まち ～復興へチャレンジする想い～」

小高復興の目的は、あくまでも帰還された一人ひとり、また、これから帰還をされる一人ひとりの生活が復興し、戻ってきて来て良かったと言われる「まち」になることです。そのためには、小高区民の財産である“ふるさと”が、元気で活気のあるまちへと一歩ずつ発展し、笑顔の絶えない地域が求められています。

今回策定する、小高復興アクション・プランでは、上記のスローガンを定め、小高区の復興を着実に一歩一歩、前へ進めます。